

| | | | |
|----------------------------|---|----------|-----------------|
| プログラム名 (40字以内) | 台湾を知る、台湾近代史へのご招待 | | |
| 団体名/所属 | 東京大学台湾校友会 | | |
| 活動区分 | フィールドワーク体験活動 | 希望する選考方法 | 書類審査のみ |
| 募集人数 | 15人 | 選考対象 | 大学院学生を含む |
| 活動方法 | オンラインを活用しつつ現地活動を行う | | |
| 参加者に求めるもの | 1. 台湾への好奇心があること並びにプログラム全期間を通じて参加できること。 2. 英語、または中国語の基本的な能力があること。 | | |
| 活動期間 | 2026/9/1(火)~9/9(水) | 主な活動予定場所 | 台湾(台北、新竹、台南、屏東) |
| プログラム実施の目的 | <p>台湾の歴史の移り変わりを理解し、時代の流れに沿って各地の歴史的スポットを巡りながら、台湾近代史への理解を深めることを目的としています。今回のプログラムでは、7日間のうち主に台湾北部と南部で活動し、台湾の歴史を体感していただきます。プログラムでは、文字記録のない先住民時代から始まり、大航海時代における海洋勢力の占領と統治、鄭氏政権の崩壊後の清朝による支配、日本統治時代初期の日本人と原住民との衝突、後期における重要な建設事業や多くの日本人が台湾に定住した歴史、さらには第二次世界大戦後の中華民国による統治に伴う恐怖政治や民族間の対立まで、多岐にわたる歴史的背景を探ります。台湾の統治者の変遷は以下の通りです:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1624年: 先住民社会 - 1624年~1661年: オランダとスペイン(全島ではなく一部地域のみ) - 1661年~1683年: 鄭氏政権(全島ではない) - 1683年~1895年: 清朝(全島ではない) - 1895年~1945年: 日本(全島) - 1945年~現在: 中華民国(台湾) <p>これらの歴史的背景を見ると、台湾の歴史は比較的短いものの、民族構成や統治者の移り変わりが複雑に絡み合っています。歴史の中では、民族間や統治者間の衝突が絶えず、現在でも台湾各地には多くの歴史的遺跡が残されており、それが台湾の豊かな文化にも大きな影響を与えています。また、日本と台湾は地理的に近いだけでなく、深い歴史的な結びつきがあります。このプログラムは、若い世代に台湾の歴史的発展を深く理解してもらい、異なる歴史的文脈から生まれた現代台湾の文化を实地で体験してもらうことを目的としています。さらに、台湾の現代的な産業発展に触れる機会も設けています。特に、世界的な注目を集める台湾の半導体産業について、台湾がこの産業を発展させるに至った背景や歴史にも触れます。政策や国際市場との連携がどのように台湾の成功に繋がったのかを理解し、台湾の産業が次世代のEVやAI分野をどのように支えているかを体感する予定です。</p> | | |
| 具体的な内容(800字程度) | <p><おおよそのスケジュール(一部変更可能性あり)></p> <p>9/1 台湾入国</p> <p>9/2 (台北近郊):</p> <ul style="list-style-type: none"> - 国立台湾博物館(台湾の歴史、民族、地質、鉱物などに関する展示) - 北投凱達格蘭博物館(原住民に関連) - 北投温泉博物館(戦前アジア最大級の浴場) <p>9/3 (台北から台南へ):</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本時代の糖工場(当時の台湾の主要産業と国際貿易の中心) - 荷蘭時代の赤崁楼 - 鄭成功寺(鄭氏時代の拓展、母親は熊本出身、長崎平戸市生まれ) <p>9/4 (台南屏東往復):</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本の台湾出兵事件について紹介(台湾が世界史に組み込まれた起点) - 台南へ戻る <p>9/5 (台南から台北へ):</p> <ul style="list-style-type: none"> - 台南市内から烏山頭水庫へ - 八田與一による建設、日本時代の台湾最大の基礎建設 - 台北へ戻る <p>9/6:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 228事件記念館 - 台湾国史館 - 天気による市内の歴史スポット見学 <p>9/7:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 景美人権園区(戦後の国民党独裁時期から民主化社会までに関連) - 天気による市内の歴史スポット見学 <p>9/8:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 新竹サイエンスパーク - TSMCイノベーション博物館 <p>9/9: 日本へ帰国</p> | | |
| 【総額】参加するための費用 | 160,000円(航空券代は含みません。)参考:2024年度参加者の総額の平均費用は235,000円 | | |
| 【内訳】参加するための費用(宿泊費) | 60,000円。ツインルーム~6人部屋を予定、朝食込み。 | | |
| 【内訳】参加するための費用(交通費) | 航空運賃(実費)を除き60,000円。毎日の電車やバスでの移動費を想定 | | |
| 【内訳】参加するための費用(その他) | その他:通訳、乗添員、スポーツ入場料、食事(約7日のランチ)、保険料 | | |
| 奨励金額(予定) | 40,000円 | | |
| 備考 | 本体験プログラムへのご参加につきましては、9月1日に台北集合が可能であれば問題ございません。そのため、事前に台湾へ入国されることや、プログラム終了後に個人で台湾に滞在することも可能です。 | | |
| 活動に関する関係資料のダウンロードサイト | | | |
| 応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) | https://www.facebook.com/Todai.Alumni.Taiwan/?locale=zh_TW | | |
| この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無) | 参加する | | |